

こうや清 県政レポート

民主党かながわクラブ保土ヶ谷区版

民主党かながわクラブ

横浜市保土ヶ谷区版

(平成27年秋季号)

横浜市保土ヶ谷区西谷町 623

TEL 383-1290

FAX 383-1291

kohya.kiyoshi@gmail.com

www.kohya-kiyoshi.com

発行責任者： 高谷 憲

こうや清の怒り（県民の怒り）、 全会派賛同で政府に意見書を突き付ける！

県内所在の政府関係機関移転に猛反対！

東京一極集中による中央と地方の格差が拡大する一方の日本再生のため安倍政権は「地方を元気に！」の合言葉で地方創生担当相を設け具体的な政策の実行に着手しています。その第一弾が政府関係機関の地方移転です。

問「神奈川県は中央？地方？」 答「地方です」

横浜市、川崎市、相模原市の3つの政令都市を抱える先進県ですが、県央・県西部などでは人口減や経済の疲弊に悩む自治体を抱えるいわば日本の縮図ともいえる県です。

ところが安倍政権は神奈川県を東京都と同列扱いし、県内に所在する理化学研究所や宇宙航空研究開発機構など8つの政府関係機関を事前相談の無いまま神奈川県と千葉県、埼玉県、東京都を除く、43道府県に誘致希望を募り、強引に進めようとしているのです。

「怒髪天を衝く！」とは正にこのことです。

黒岩知事も全く同じ思い。県民を代表する県議会も強い反対の意思を示し、矢面に立つ知事を応援しようと、高谷議員も所属する産業振興経済活性化特別委員会とくには発言を求め「与党も野党もない、県民党だ！県民こそ反対している怒りを込めた反対の意思を示すために意見書を！」と大きな声を張り上げ政府の姿勢を追及しました。

自民党はもちろん、何でも反対する共産党議員団もこれには賛成、十月十四日の県議会本会議では満場一致、次のような意見書を採択しました。

神奈川県に所在する政府関係機関の

地方移転に反対する意見書（要旨）

政府は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、政府関係機関の地方移転に係る提案募集を行った。

その結果、本県に所在する8つの試験期間等について24府県から移転の提案が寄せられたことが判明した。

移転要請された本県に所在する8機関は、本県や地元市が関係者と協議を重ね、優遇策を用意し、その誘致に尽力するなどして、県の重要施策と密接な関係を有する機関や、立地以来年数を重ねて地

元のまちづくりや賑わいの創出、産業の振興に不可欠となつている機関ばかりである。

よって政府は、本県の地域事情を十分斟酌の上、本県に所在する8政府関係機関の地方移転をおこなわないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する

平成二十七年十月十四日

内閣総理大臣

財務大臣

文部科学大臣

経済産業大臣

地方創生担当大臣

殿

神奈川県議会議員 高谷 憲

決算特別委員会報告

高谷県議が副委員長を務める決算特別委員会が十一月九日まで開かれました。

二十六年度の県財政、収入は消費税増税（地方への譲与税が増えた）ほか景気の回復で法人県民税など税収が増え、更に県有施設を売却し不動産収入も増えました。しかし、医療費などの社会保障費等の固定費及び公債費等の支出もそれ以上に増えたので収支は76億円とかなり黒字を計上しました。

（裏面へ続く）

税収増（法人県民税・消費税増税）、県有資産売却で 収入アップ、県財政2年連続黒字

社会保障費、公債費増で依然厳しい県の財布の中身

支出増の最大の原因は何と云っても公債費の大幅増です。公債費つまり借金返しです。県債残高は人件費削減、県有地や資産の売却など身を削りながら収入を得、着実に減らしてきているものの臨時財政特例債（あとで地方交付税で返すから取りあえず地方に借金させる）の返済分が大きいのです。

国が約束通りきちんと地方交付税を増やしてくれていればもともと黒字幅は広がるはずですが、

約束も履行していないのに、政府機関の地方移転で地方を元気に！何て言っていないで高谷県議がいや全ての地方議員が声高に訴えている【税財源の地方委譲】が一日も早く待たれます。

地方議員は改革を叫び続けながら、残念ながら現状では更なる無駄を省く努力をし、自主財源の確保する努力を傾け、生み出した税金を有効活用し県民福祉向上のために頑張っていくしかありません。

常任委員会報告

8月24日から27日まで、本会議の議決を受け、県民企業常任委員会は道路・上下水道の整備が遅れているベトナムを訪れ、美味しい水と評判の高い神奈川県の浄水、給排水等の技術協力できないか、とハノイ、ホーチミン市の水道公社の代表者と会談、意見交換をしてまいりました。

こうや清県議ら県民企業常任委員会、ベトナムを視察

神奈川県がインドの地方都市とも技術協力の覚書を締結し、企業庁がすでに国際貢献事業を展開していることを知っていた彼らは「わが国は浄水器や煮沸しなければ飲めない水、高い漏水率で困惑している。是非ともわが国にも神奈川県の水道技術を！」と、確かな感触を掴み取りのある視察となりました。

一行は又、現地で中小企業の日本式経営管理をボランティアで指導している茅ヶ崎市出身の三菱重工の方とも現地での苦労話を交え意見交換、さらに日本で働きたい若者を日本の言葉、習慣、風習などを事前に教える日本学校も訪れました。建設関係が主な科目の同校の校長は、高谷県議の「看護・介護の科目も是非！」との提言に政府と直ぐに協議します」と応じるなど極めて有意義に視察をしてまいりました。

（後日談）同校オーナーは高谷議員とは旧知の間柄だった！ベトナムからの神奈川県議団訪問の報告メールを見たオーナーが早速県庁に高谷議員を訪れて来ました。世間は狭い！

特別委員会報告

城が島に新たな観光施設！

海の釣り堀オープン！

十月二十七日、高谷県議が所属する経済活性化産業振興特別委員会は、新たな観光施設にと、県が三千万円、地元が三千万円、

ご案内

平成27年感謝の集い

（こうや清後援会大忘年会）

- 日時 12月6日（日）
午後6時より
- 会場
「株イズミ産業」 銀泉亭
- 会費 7,000円

※議席毎還の感謝をこめて
大抽選会復活！

平成28年、新春初詣

- 日時 1月31日（日）
- 行先 ・身曾岐神社
古神道本宮・ゆず神社
・清里高原ホテル
- 会費 8,500円

計六千万円かけ、この夏オープンした海上イクス釣堀「JSフィッシング」を視察してまいりました。
三浦市、城が島のみなさん、各漁業組合、観光協会、京浜急行㈱、商工会議所など地元三浦が一体となって手づくりで作り上げた海の釣り堀です。
（費用はかかりませんが）お持ち帰り自由なので、愛好家はもちろん、釣りは初めての高谷議員でも釣れるほど簡単なので、旅行の合間に家族連れで楽しめる釣り堀です。新たな城が島の観光の目玉として大いに期待するところです。

12月9日、こうや清、4年ぶりの本会議登壇！